

リリース日	.2020年5月	issue 1、#0520_1_o
エンジンタイプ/適用性用	エンジン EOS 150、すべてのバージョン	
ステータス	必須	オプション

導入

継続的な開発の結果として、我々は元々 EOS150エンジンに搭載され配信された、キャブレター-Walbro WB37をチューニングすることによって改善を発見しました。

以下に説明する変更は、エンジンの動作を次のように改善します。

- 中程度の回転域操作でのスムーズなオペレーション
 - 特定の中回転域ステージから高いスロットルまたはフルスロットルへのスムーズな加速
 - 中回転域操作でより豊かな燃焼が行われ、エンジンの温度が低下します。
 - 上限が高い。その結果、高回転とより多くのパワーと推力
- より良い燃料混合状況と低いエンジン温度のために、レベル/巡航飛行で連続的なエンジンのオペレーションで使用される特定のRPM段階で、より高い耐久性およびエンジンの長い寿命が期待できる。この変更はオプションであり、必須ではありませんが、推奨されます。

アクション

キャブレターからエアボックスを取り外し、すべての接続(スロットルケーブル、燃料ライン、真空ホース..)、エンジンからキャブレターを取り外します。

図のようにキャブレターを開きます。

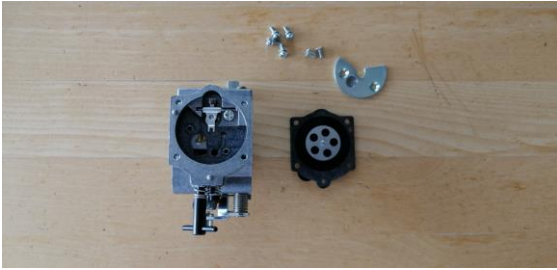


図のようにテーブルの上にキャブレターを置く

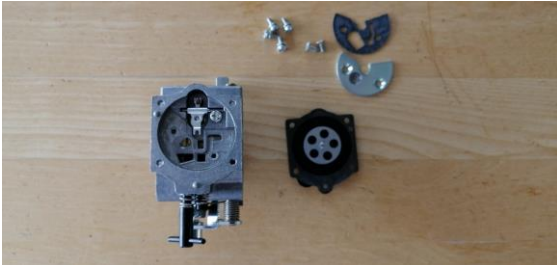


4本のねじを外してカバーを開け、カバーとガスケットを入れてレバープレートを脇に置きます。

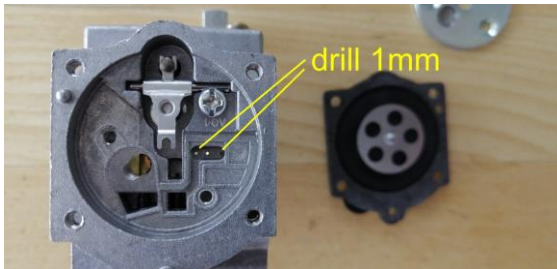
プレートを取り外すためには、レバーのフォークからニップルをスライドさせる必要があります。レバーを曲げたり、レバープレートを損傷、形状を崩さないようにここでの予防措置をしてください!



半円形のプレートを取り外し、2本のネジを開けます。



紙のガスケットも取り外します。小さな鋭いスクロードライバーを使用して、それが固執する可能性があるためにそれを取り出しますが、それを損傷しないように注意してください!



楕円形の窓に小さな穴が3つ見つかります。真ん中のものは変わらず、他の2つは1mm(メートル単位)ドリルで掘削することによってそれぞれ拡大する必要があります (ポータブル掘削機で通常の金属ドリルを使用してください)

穴をずっとベンチュリノズルまでドリルします。掘削後、よくエアコンプレッサーツールを使用してエアジェットで、すべてのドリルチップを削除します。

適切な方法でキャブレターを再組み立てし、エンジンに再度取り付けます。

重要: - キャブレターのジェット設定に対して以下の変更が必要になります。

- Lジェットアジャストスクリュー: 1回転(反時計回り) - 全閉より1時間

(参考: 以前の標準設定は1+1/4 回転(反時計回り) - 全閉より1時間15分)

- Hジェットアジャスタースクリュー - 標準設定に変更はありません

(または、お使いの地域/高度に適した設定を変更/最高であることが判明した場合)

エンジンマニュアルによる標準設定。1+1/4回転(反時計回り) - 全閉より1時間15分